

ぬ

抜ぬきん出でた

英えい知ちの集つどう

良ごん齋さい門い下か



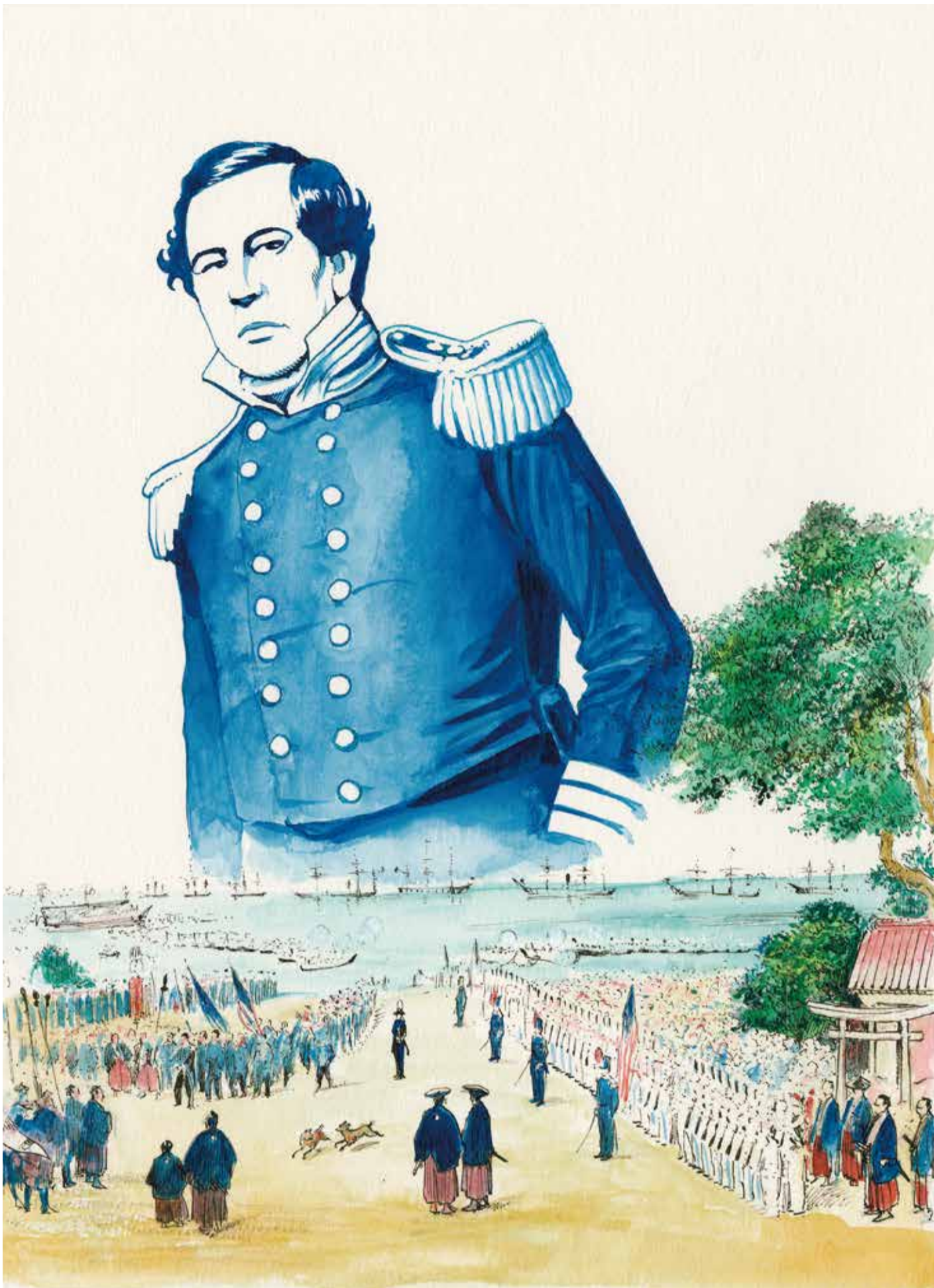
解説

安積良齋は郡山の出身。江戸で佐藤一斎に学び、初めの塾を小栗邸の長屋で開くと、優しくわかりやすい学風を慕って門人が増え、忠順も九歳からここで学んだ。ほかに、栗本鋤雲・秋月悌次郎・岩崎弥太郎・前島密・木村喜毅・高杉晋作・福地源一郎・吉田松陰など。これらの人物に与えた影響は大きい。



ペリー提督 浦賀に来航

国書を持って



解説

1853嘉永六年のペリーの来航はオランダ国王からの通報で幕府は事前に承知していた。しかし、実際に目の前に出現するまで具体的な方策を準備していなかった幕府は、久里浜で応対し一年後の再来航を確認。中国がアヘン戦争によってイギリスの武力に敗れたことを教訓として開国へと政治の舵を切ってゆく。